

エポキシ樹脂系
高強度速硬タイプ床用補修材

ベースボンド

■一般コンクリート（モルタル）床用補修材



株式会社

サンベスト工業

特長

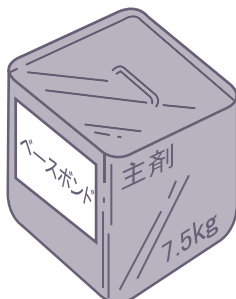
- 欠損部や亀裂部分に流し込むだけで、強力に接着・硬化し凹凸のない床を形成します。
- 硬化後は、セメント・モルタルの3～5倍の強度を有し、又接着力も強力です。
- 12時間(20℃)で硬化し、大型車輛の通行も可能です。
- 収縮がほとんど無いので硬化時に亀裂が生じたりすることがありません。
- 耐水、耐油、耐薬品性に優れています。

用途

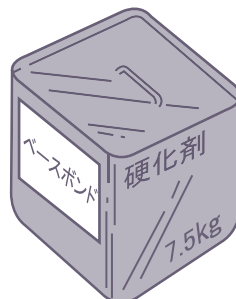
- コンクリートやモルタル床の破損、亀裂補修
- コンクリートやモルタル床の段差、凹凸修整
- コンクリートやモルタル床の強化、耐摩耗、スリップ防止仕上げ

製品種類

種類	用途	使用材料
ベースボンド F-302	一般土木建築用	F-302主剤、F-302硬化剤、骨材



主剤



硬化材



骨材

ベースボンド 混合比・施工

配合種類	配合の方法	適用場所	補修法
液状配合	(配合比) 主剤:硬化剤=1:1  目盛カップに主剤と硬化剤を同量ずつ入れ、十分に混合。	比較的小さい破損の窪みや細い亀裂を埋める時の配合です。  この液状配合液をシンナーで希釈し、コンクリートに塗布し、床の防じん、強化仕上げとする事も出来ます。	
	(配合比) 主剤:硬化剤:骨材=1:1:1  上記の液状配合に、別のカップで計量した骨材(6号珪砂)を加え混合。	比較的大きい破損箇所や亀裂に充填、補修する配合。  砂がカップの中で沈殿しない様に常に混合しながら欠損部に流し込み、床面と面一にする。	
樹脂モルタル配合	(配合比) 主剤:硬化剤:骨材=1:1:8~10  十分に攪拌した配合液と骨材を別の容器に移し、再び十分に練り合わせる。	深くて大きい欠損部分や段差の修整等の補修配合。  あらかじめ配合液のみを刷毛で塗布しておき、20~30分以内に(配合液が未硬化の内に)金ゴテ又はヘラで平滑に施工する。	

※主剤と硬化剤を混ぜ合わせると、10~15分でゲル化しますので、攪拌後速やかに施工して下さい。(特に高温での作業は可使時間が短くなりますのでご注意ください。)
 ※攪拌が不十分ですと硬化不良などの不具合が発生しますのでご注意ください。

補修例	配合	1セットで施工出来る 数量 面積
巾2m/m深さ2m/m程の細い亀裂	液状配合(骨材無し)	300~330m
直径10cm 深さ1cm程の破損部分	ペースト配合	40~50ヶ所
深さ平均1cm程の凹凸	樹脂モルタル配合	5m ²

I 使用法

① 準備するもの

- 金ゴテまたはヘラ
- 目盛つき配合カップ（ポリエチレン製又は金属製）
- 攪拌棒（折れにくい30cm程の木の棒でも結構です）
- 軍手、ウエス、予備の容器、器具洗浄用シンナー（市販のラッカーシンナー）

② 補修箇所の清掃

- ゴミ、ホコリを掃きとって下さい。
- 油、その他の汚れはシンナー類で拭き取るか、洗剤で十分に洗浄して下さい。
- 湿っているとベースボンドの接着性が低下するので、乾いてから補修して下さい。

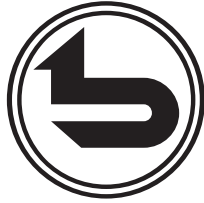
③ ベースボンドの配合

- 前項の表をご参照の上、目的に応じた配合を決めて下さい。
- 水平な場所に配合カップを置いて、ベースボンドを計量して下さい。
- 主剤、硬化剤の混合は充分に行って下さい。（約2分間）
- 骨材を加える場合でも、先ず主剤、硬化剤を充分攪拌したあとで加え、再び充分に混合して下さい。

I 硬化養生と道具の洗浄

- ベースボンドを施工したあと12時間（20℃）で通行可能になりますがこの間は通行・火気を厳禁として下さい。
又、水漏れは48時間（20℃）厳禁として下さい。
- 使用した道具は、シンナー（市販のラッカーシンナーで結構です）で作業中、作業後、洗浄して下さい。
- 作業中、及び硬化中は火気厳禁です。喫煙、溶接作業をしない様ご配慮下さい。
- 皮膚についたベースボンドは、シンナーを含ませたウエスで拭きとり直ちに石鹸水で洗って下さい。

	ベースボンド F-302
用途	一般コンクリート(又はモルタル) 床用補修材
使用材料	ベースボンドF302 主剤7.5kg缶 ベースボンドF302 硬化剤7.5kg缶 骨材(6号硅砂等)
圧縮強度	96.1N/mm ²
曲げ強度	32.4N/mm ²
接着強度	4.4N/mm ² 以上(コンクリート破壊)
可使時間20℃	10分



株式会社 **サンベスト工業**

■ 本社 | 愛知県名古屋市中村区砂田町 2-32
TEL (052) 411-1431 (代表)
FAX (052) 411-1458
E-mail info@sanbestkogyo.co.jp
<http://www.sanbestkogyo.co.jp>

■ 営業所 | 東京都豊島区東池袋 2-63-1
TEL (03) 3988-6151 (代表)
FAX (03) 3988-6292